

五角形の図を使う「ペンタゴンチャート」を活用しよう

ペンタゴンチャートでは、株価の動きを五角形の図に当てはめてテクニカル分析を行います。ペンタゴンチャートでは、将来の株価動向を予測する際にも使えます。スーパーチャートでも自由に描くことができるため、ぜひ利用してみましょう。

五角形でテクニカル分析を行うペンタゴンチャート

「日々、上下にめまぐるしく動く株価の動向を予測できたらどんなに便利だろう」と思いますよね。現在使われている多くのチャートは、過去の株価を表しているに過ぎません。株価の過去の動きを分析して、今後を予測するわけです。そこで、株価が今後、どう動くのだろうという予測に活用したいのが、ペンタゴンチャートです。

株価の動きを、五角形の図に当てはめたのがペンタゴンチャートです。前述しましたが、1対0.618の比率である黄金分割比率をもとにして五角形が作られています。それを株価に当てはめてテクニカル分析を行うのがペンタゴンチャートです。大ざっぱにいうと、フィボナッチチャートでは直線で表されていた情報が五角形になったのがペンタゴンチャートだということになります。

ペンタゴンチャートの分析方法など詳細については、川口一晃さんが詳しく解説した本を出されていますので、そちらを参考にしてください。

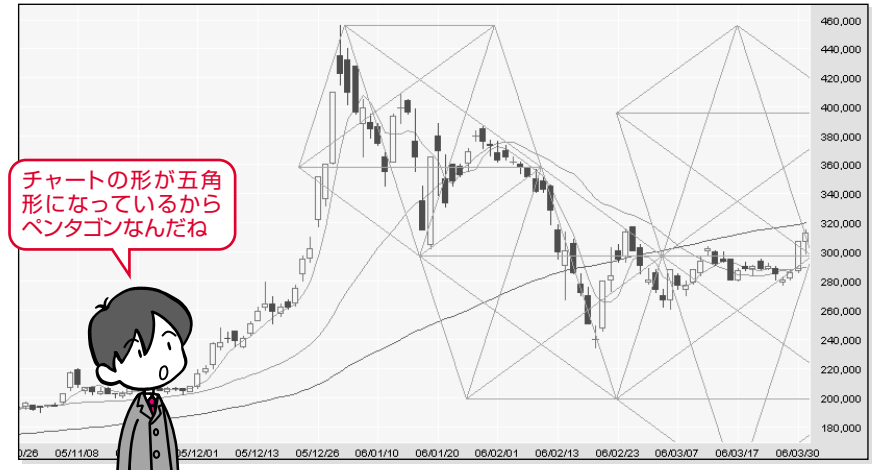
どこまで、いつまで株価が動くのかを予測できる

ペンタゴンチャートは五角形の形をチャートに書き込んでいくことで、分析を行います。五角形の各点が、変化日や変化する時間帯を表しています。そして、株価はその対角線に沿ったり、各点に吸い寄せられたりするように動く習性があります。そのため、株価にペンタゴンを当てはめていけば、いつまで、どこまで株価が動くのか、将来をある程度予測できるとも便利なチャートです。

スーパーチャートでも、このペンタゴンチャートを描くことができます。ただし、ペンタゴンを描く際には、その銘柄に合わせて、ペンタゴンの大きさやスタート位置を自分で決める必要があります。その株価にぴったりのペンタゴンを作れるようになるには経験が必要だとは思いますが。

なお、94ページの要領でチャートの余白を広げると、ペンタゴンチャートを少し先(未来)まで見ることができるので便利です。

これがペンタゴンチャートだ!



ペンタゴン(五角形)のできる位置から価格を予測!

ペンタゴンの仕組み

1つのペンタゴンはこのような内容を表しています

